

「福祉のまち、よこすか」をめざして

頒布責任者: 藤野英明、住所: 横須賀市若松町2-31平坂第1ビル3階
印刷者: 株式会社プリントバック、住所: 京都府向日市森本町野田3-1

迷惑で税金のムダづかい＝選挙カー、今回も使いません

朝から晩まで大音量で名前ばかり叫んで政策も言わない選挙カー
やっと寝ついた赤ちゃんを騒音で起こされたり、低速で走るので渋滞を起こしたり、選挙期間とはいえ、あなたも迷惑に感じたことがあるはず

➤実はそんな選挙カーに税金から補助が出ています(＝公費負担制度)
→レンタカー・ガソリン・運転手報酬などに税金から補助が出ます



NO! 選挙カー

「税金のムダづかいを無くす」と訴えてきた僕は、20年間1度も選挙カーを使ったことはありません。徒歩・バス・電車で移動し、メガホン片手に1人ひたすら政策を訴えてきました

あなたが必死に働いて納めてくれた税金を、政治家たる者は選挙カーなんかには使うべきではありません

税金で送られている選挙ハガキ、今回も出しません

住所を教えたことも無いのに、突然送られてくる候補者からの選挙ハガキ

➤実は選挙ハガキも税金で送られています＝候補者1人2000枚分

→もちろん今回も僕は選挙ハガキを出しません。税金のムダづかいだから

税金で選挙チラシを作れる条例に、ただ1人反対しました

前回の選挙から、選挙中にチラシを配れるように法改正されました。でも…

➤実は選挙チラシ作成費も税金の補助が出ます＝候補者1人4000枚分

→2017年9月議会で、選挙チラシに公費負担を認める為に提案された議案72号・議会議員(略)の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例改正に反対したのは藤野英明だけ。もちろんこのチラシは自費で作りました

「選挙のやり方」で当選後の姿がわかります

組織に頼らず税金のムダと戦いながら当選を重ねてきた僕だからこそ議会でも一切しがらみなく信念をもって政策を訴えて実現できるので
→選挙のやり方を見れば「当選後の政治家としての姿」がわかります

僕は、いち市民だった時に感じた「選挙のおかしな事」は初立候補から20年経った今も絶対やりません。名簿を使った電話かけもしません。後援会も作らず、政党や組合などの組織に一切所属しないのも同じ理由です

横須賀市議会の「質問王」20年間、単独トップ！

横須賀市議会議員

無所属・無会派・5期

- ◆精神保健福祉士
- ◆日本心理学会認定心理士

おれを、こきつかえ！

ふじのひであき 49才

藤野 英明



プロフィール

- ・1974年4月 追浜の湘南病院生まれ
- 横須賀生まれの横須賀育ちです。家族や親戚に政治家はいません
- ・白鳩幼稚園、武山小学校、武山中学校、県立横須賀高校(高45期) 卒業
- ・早稲田大学 教育学部(臨床心理学専攻)卒業 心理学士
- ・日本福祉大学 福祉経営学部(通信制)卒業 福祉経営学士
- ・上智大学大学院 福祉政策専攻 中退
- 福祉政策を専門的に研究すべく働きながら通学したものの、植物状態になった父の医療費を払わねばならず学費を捻出できなくなり中退しました
- ・東宝株式会社(映画興行部・財務部)にて5年間勤務
- 映画が撮りたいという夢から就職しました。今も映画・演劇が大好きです
- ・2003年4月 横須賀市議会議員選挙に初当選(現在5期目)
- 当選後10年経った議員に与えられる「市政功労者」「全国市議会議長会在職10年表彰」、さらに「同15年表彰」「同20年表彰」を全て辞退しました
→議員は単に市民の代理であり、あなたこそ「市政功労者」だからです！

あなたの命とくらしを守る為に。これからも「おれを、こきつかえ！」

*より詳しい実績と公約はこちら→



◎これまでの実績を一部ご紹介します

さらに進めます

より良い医療体制をつくってきました

- 2040年の医療ニーズ増加に対応する為、築50年超で老朽化の激しいうわまち病院の建てかえを7年間提案し続けた結果、ついに2025年、**新たに「市立総合医療センター」としてオープン**します
- 2500g未満で生まれた低出生体重児(リトルベビー)の健やかな成長の為にうわまち病院NICUに母乳バンクのドナーミルクを導入しました
→全国400のNICUのうち66番目の導入です
- ドナーミルクを必要としている全国のリトルベビーの為にうわまち病院が2023年中に新たなドナー登録施設となる準備をスタートしました
→県内の公立病院では初めてとなる快挙です！

犯罪被害にあった方の支援をすすめてきました

- 2006年から提案してきた「**犯罪被害者等基本条例**」を2021年に実現し、市独自の見舞金やカウンセリング体制を作りました
- **犯罪被害者への理解と2次被害の防止**の為に、犯罪被害者週間のパネル展示、街頭キャンペーン、市民向け講演会など実現しました
- 神奈川県・県警・NPOと県産婦人科医会による協定に基づく「**性暴力被害者支援の協力病院**」に市立2病院が登録されるよう提案、実現しました

新たな課題に積極的に向きあってきました

- 犬や猫の**100頭をこえる多頭飼育崩壊**に対応する為に市民団体と連携して、**動物愛護センターの新たな支援**(殺処分がゴールではない形の保護、センターでの譲渡会の初開催、新棟の建設に際し市民団体の意見聴取等)を実現しました
- **風水害時の避難所でペット同伴避難**を実現しました(一緒に避難可能)
- コロナ禍で外出困難な中、**市役所の市民相談など各種相談をリモートで行うことができる体制**を実現しました

20年間、市長への質問回数は断トツの第1位！

- 市長への本会議での質問回数は全議員のトップでした(20年間で78回)

◎これからさらに実現していきます

さらにより良い医療体制をつくります

- 市民病院の産科・助産師外来を新たな総合医療センターに集約し、**極めて困難な出産にも対応できる周産期医療体制**をつくります
- すでに高度な小児医療体制を持つうわまち病院ですが、全国に約40施設しか無い**PICU(小児集中治療室)**を新たな総合医療センターに新設し、さらに**高度な小児医療体制**をつくります
- うわまち病院跡地に誘致中の看護系大学と市立看護専門学校を統合し**大学院**を新設し、**高度な保健・医療人材を養成できる体制**をつくります
- 延命を望まない方に救急隊が蘇生措置を行わないようにできる**独自の基準**をつくります(=DNAR事案への横須賀市独自の基準)

犯罪のないまちづくりをさらに進めます

- 性暴力に特化した「**性暴力被害者支援条例**」をつくります
- 性暴力被害にあった方を支援する**病院拠点型ワンストップセンター**を**新たな総合医療センターに設置**します
- 累犯障がい者など罪を犯した人の**再犯防止・更生支援**を充実させます

政策中心の議会改革をさらに進めます

- 横須賀市議会の政策立案のエンジン＝**政策検討会議**の2017年創設時からのメンバーとして**議会実行計画と5本の条例**を作りました。来期も必ず同会議に就任し、**政策メインの「チーム市議会」体制**を進めていきます
- **ヘイトスピーチ**をはじめとする「**包括的な差別禁止条例**」を作ります
- **くりかえしてしまうごみ屋敷**を真に解決する為に「**ためこみ症**」の観点をごみ屋敷対策条例にもりこむ改正をします

これからも市長へ質問トップを続けます！

- 年4回しか無い市長への質問の機会に必ず毎回質問します
→市議会議員は「質問」という形で「政策提案」をすることができます。質問をすれば**必ず行政は動きます。現実を変えることができる**のです。だから、**これからも僕は政治家の義務として常に市長へ質問し続けます**